



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島原爆の事はちょっとだけ塾でやりました。

今回の話で、自分の知らない、知った事が分かりました。皮がはがれた人の痛さ、目はずっと当てられてやけどを負った人の苦しさ、家族がいなくなった人のかなしさなどです。

自分がその場にいたらなにが出来るか、考えました。他人は出来るはずすぐ一入で逃げていたかも知れません。原爆はもう二度と来ってほしくないです。誓いという事を改めて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこ

表

名前は裏面に記入してください

11/12

多くの死者がでてしまったり全てが
 焼きつくされたらしてしまうので
 原爆はこの世にあってはならない
 ものだと感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

11 / 10

話を聞き、ハッキリとしない変な気分になっています。でも、こわいような感じとはちがいます。もうなんだかよう分かりませんので、話を變えて話の中で先生のお父様が死体やけどした人々に会ったりした話に、身の毛もよだつようなこわさを、おぼえました。また、広島市の原爆資料館の女の人の人形でも、またきれいなのかと思いき、本物を見ていたら、自分を保てるのかと勝手に心配などしてしまいました。また、百間は一見にしかずとその言葉の通り自分は、まだまだ、先生のお父様が体馬灸したことを、しかも理解できてはいません。ですが、聞いた話を心に残し、家族、友人、また自分も、原爆のこわさ、被爆者が今も病気をたたかっている人がいるという事をしかと心にとめておき、そのことから目をそむけないようにしていきたいと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこ

表

名前は裏面に記入してください

11/10

広島に原爆が落ちた時、僕はまだ生まれていません。弾の話

は聞かずに育ちました。でも、今でも時々、想像の世界に

に体験した方の話を聞くと、自分もその場に居た

かのように思えてきます。だから、今までの人生で、第一次世界

大戦の事を知りたいと願っています。先生、ぜひ教えてください。

よろしくお願いいたします。

やけどをして、皮膚がむくんで、痛みがひどい。先生、

教えてください。先生、教えてください。先生、

教えてください。先生、教えてください。先生、

教えてください。先生、教えてください。先生、

教えてください。先生、教えてください。先生、

教えてください。先生、教えてください。先生、

教えてください。先生、教えてください。先生、

教えてください。先生、教えてください。先生、

今日の授業で、原爆の被害を絶対に忘れない

命を大切にしてください。そして、戦争生活は

苦しい生活が、戦争生活は毎日

大切な命を失って、悲しい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

11 / 10

広島全体をおそった原子爆弾の中で爆発したウランはゴルフボールくらいの小さなものであったことを知っておどろいた。また、原子爆弾をおとすこと事態も、酷いことだ"と思ったが、投下する条件をつくり、投下に適した場所を探して投下していたというのは、とても酷いことだ"と思う。爆弾の威力は、一瞬にして、人が消えてしまうほどのものだったのだ"と思うと、とても怖い。被爆した人の皮膚がとけている像私にとって、とても恐しいものだった。でも、長い間生々しいものを見ていた。体験者にとって、あの像は、きれいな見えるのだ"と考えると、戦争は恐ろしいものだ"と思う。また同じようなことがおきないように、なっていくように努力していきたいと思う。



じゆこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11 / 10

原爆の話は、私も前から知っていましたが、最近、
自ら調べたりして知りましたが、実際に先生の話を
聞くのと、自分の全然ちがいました。町を歩いている
とき、会社を歩いているとき、一瞬のうちに知
りたくなってしまったのは、言葉には言い表せないほ
ど悲しくなりました。

私は、原爆が投下された時の動画を見た時、とんち
なでし少女にも言葉でも、決して言い変えないう、悲惨
な事を二度とくり返したくない、と思いました。

原爆の中のこと、原爆が落ちた時のこと、全く
私も全く知らなかつた事でした。私は、広島に
行ったこともないし、原爆資料館にも行くことがあ
りません。でもこの授業を受けて、原爆のことをもっと知
りたい、調べたいと思いました。

今日の、本当に貴重な時間は、原爆のことを、沢山
学ばせていただきました。本当にありがとうございました。



じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

名刺は裏面に記入してください

11/10

私はこの特別授業を受講して、人の
 いたみについて考えました。
 まず、身体的なものに関しては、
 たぶん私が感じるいたみの何千倍の
 いたさなんだろうと思います。人間
 だと思えないような外見になること
 は想像できませんが、本当にあそ
 うしいていたと思いました。
 そして、原子爆弾が人に与える影
 響は、目に見えるものだけではない
 と改めて分かりました。被爆者た
 けでなく、被爆者の友人や身内
 の方々や、その凄惨な光景を目に
 した人達の心に、原爆は永遠の
 傷を刻み、その心のいたみは
 いつまでも消えることはない
 と思います。私はそんな人達の
 想いを受けとって、原爆の落るこ
 とのない平和な世の中をつく
 りたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

11/10

今日のお話を聞き、原爆の恐ろしさにとっても
おどろきました。

実際は私の想像を起さずにもたらした、
恐怖、罪の怖さを感じました。

もし、1kgのウランではなく約1kgのウランが燃焼
したと、東京にも、もしかしなう被爆者が出
たがもし水ないと、思ふことでも怖いです。

とも原子爆弾を普通に持っているという
恐ろしさに早く気づいてほしいです。

広島と長崎に起きた事を、この後の
時代も、と伝わり、皆が戦争は、
終わっても、悲しい思い、つらい思い

が残るといふことを理解し、
いつか、むごたらしい戦争がなくな
る事を早く来ると思ふことを願
っています。

お話を、貴重なお話を聞いて下さり
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこく

表

名前は裏面に記入してください

11/10

原爆先生の授業を受けて、先生のわかりやすく
ていねいな説明で原爆のおそろしさや当時
の状況がわかった。広島に落とされた原爆の
「リトルボーイ」はウラン1kg分しか爆発していな
いとわかり、今は世界中にその何百倍もの威力の
ものがあることがとても怖かった。しかも、今、北朝
鮮が核実験を行っているので「おそろしいことだ」と思った。
広島でできた表面温度7000℃の火の玉
は、太陽よりも熱いと知り、人類はもう限度を超え
てしまったのではないかと感じた。

もし、今世界が核戦争を起した、間違もなく
人類は滅びると思う。そうなることを止めるためには、
悲しい現実を将来に伝えて、止めることが必要
だと思った。

話を聞いて感重かしました。これからも活動力を
続け、たくさんの方に授業をして欲しいと
思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

11/10

原爆先生の授業は初めてでもとてもわかりやすく広島に落ちた原爆のひさびさなどがあつた。

原爆に入っていた1kgのウランで広島全体が被害にあつたのだから、もしほかのウランを全部使っていたらと思うととてもこわくあつてしつた。

爆発した時に中心が100万℃で表面が7000℃という太陽よりも熱い火暴弓弾を作る世界になつてしまつて いることがとてもわいと思つた。

そして、爆発心土の温度が3000℃もあつた外にいた人たちが、体の中にある水が蒸発して炭の塊になつて、衝撃波でこぼごぼにくだけちつてゐるのを、想いがべてみると、とても恐い。

原子火暴弓弾で、命を落としてしまつた人が、40名もいたのが、とてもおどろき、悲しつた。

これから原爆のようなひさびさな事が起つたらなうな世の中がいいと思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

巻

右側は裏面に記入して下さい

11/10

僕は祖母の家が原爆ドーム等の近くなので、
遊びに行ったら、資料館に行ったりします。

昨年は「戦争レポート」と言うのが宿題に出された時は
被爆にあつた人達の話を聞き、レポートを書きました。
僕が最初に被爆した人の話を聞いたのは幼稚園ぐらいだと思
います。その時は全然知識が足りず、原爆資料館
の人形を見て、怖いと感じていました。ですが、
昨年行くと、「悲しい」、「なんて悲惨なんだ」と思いま
した。そして、今日聞いて、本当にあつてはいけないと
思いました。今回初めて、聞いた事もあつました。
今日色々な発見がありました。本当に貴重な
体験になりました。

戦争が終わつて70年経つて、戦争がどんなものか知らない人がいま
そんな人達に、話を聞いた僕みたいな人達が、どんなものか、どんな
悲しい事が伝えなければいけないと思います。

今回は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表紙に記入してください

11/10

原爆先生の特別授業を受講して原爆の力は恐ろしいと思いました。広島市人口は約35万人、死者数は約14万人と、5人に2人が亡くなりました。原爆は太陽より1000℃高い7000℃で地面では3000℃という高温です。そのような力があるということを知りました。

このようなことが二度とあらないようにしたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこ

表

名前は裏面に記入してください

1/10

ぼくは、この授業を受講して、原爆の恐ろしさを改めて知りました。今まで原爆と言ったら感度の強い爆弾としか思っていました。しかし原爆の威力はぼくの想像をはるかに上回っていました。話を聞いている時に、その火暴の温度、100万とは想像することもできません。池田さんの話ではあまりの恐ろしさに震えてしまうことも何度かありました。人が座、たまま炭になって砕け、階段にその人のあとだけが残っているという話を聞いた時は、あまりの残酷な話音が悪く聞こえました。先生が行ってくれた原爆の真似にはおどろきました。しずまり返っている世界の片一しんでその静かな世界がこわされてしまうということには、たいへんおどろかされました。このようなことがこの地球上で再び起こらないようにするために原爆を忘れないで



名前は裏面に記入してください

11/10

ぼくは原爆先生(池田先生)の話聞いて、「どんな理由であっても、絶対に絶対に戦争という物を起こしてはいけない」と改めて思いました。

それを一番一番感じたのは、『1kg』という所です。エノラゲイが搭載していたウランの量は、60kg。そして、爆発したのは、1kg。1kgで亡くなった方は約14万人。これがもし今の技術で、何百kgのウランが爆発したら、たぶん日本全国のものすごい人が亡くなっていたと思います。

そして、今アメリカのトランプ大統領と北朝鮮の金正恩総書記の間で、冷戦状態になっていますが、その状態が1日でも、1分でも、1秒でも早く解消されればいいなと思います。



じゆこく
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/10

今回、池田さんの講話を聞いてとてもいい経験になった
 と思います。このクラスでは夏休みの宿題で戦争の出来事
 を書くことになったのですがどの情報も細か書きしめされて
 お礼完成度が低くB-29による投下された核兵器の
 恐しさを今の日本人、広く言えば世界にほぼ全ての人に
 伝えることができませんでした。また、多くのおはなちゃんは、80歳い
 くらいいなめですが戦争を体験しているもの、糸田がな
 こは明らかにかなりなりました。しかもお話をしてくれた
 池田さんのおうんこのようにお話を聴かされていくうちに
 うに、戦争中核の恐しさを知る人が増えていけば、戦争
 ゼロという結果につながるかなと思います。今の時代は食べ物
 も当たり前のようにある、学校にも通える。いつも楽しい生活を送
 りながらの幸せに囲まれていて心からうれしいと思います。な
 こも今日きいた話をこの先、地球に生まれる全てのの人に
 伝えていきたいと思います。

今日は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/10

ぼくはこの授業を受講して原子爆弾の怖さおはかい力を細かく良く知れました。ぼくは原子爆弾を怖いと思ってはいましたがウランがで広島の町が一瞬でがれきの山になると思わすもたくさんのウランが必要だと思っていました。衝撃波の速さも音の速さより速いとは思いませんでした。熱線も太陽をこえる熱だとは知りませんでした。ぼくは原子爆弾資料館に行きました。資料館にかざられている物より想像きません。原子爆弾一つでたくさんの方が亡くなった現実感しました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

11/16

僕は広島と長崎の資料館に行ったりして
 ました。しかしまだしるまじいことがたくさん
 あります。今日は、できる限り多くのことを教
 えてもらうため、集中しました。池田先生のお
 父さん池田義二さん(17歳)で兵
 隊に就いたのでこの時代に生きていたら
 あと数年で兵に就くと思うと恐怖心があ
 ってきて目の前の光が止まりました。
 原爆のおそろしさ被爆者の悲しさを
 池田先生がみんなに伝えるための活動し
 ているのだと思います。
 そして戦争や原爆、ミサイルなどは全体に人
 を悲しませると思いました。だから今
 PKOなどさまざまで平和に向けて活動
 が行われています。これから人が悲しむ
 ことなく平和に生きていけるようにです。



じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

広島に70000人の手と呼ばれた、原子爆弾が落ちた。
 その火爆弾は、一瞬間にして広島を焼き野原にして、
 そこにいた人の命をうばった。原子爆弾を落とした
 飛行機は「エノラ」の名前がつけられた。エノラにのった
 人は、焼き野原のなごりを見ても、どうも、どうも、
 かなしい。何故火爆弾が落ちる前に戦争を止めな
 かったか。人と人が生きることが無限の可能性を
 秘めている。それ、戦争には、大きな進歩もみ
 られる。逆に、戦争は、恐ろしい事をおこすともいえる。
 僕は、今と過去を比べて、どうも、実感することがあ
 り、命あってこそ、生きていくことが、できる。戦争は、
 止むべきだ。と思う。お金のため、利益、ため、戦争を
 するよりも、平和な世界を、つくることが、
 僕は、いいと思う。自分が、戦争を止めること、
 う見方も、ある。一度、客観的に、
 自分たち、戦争を、言える。戦争、
 と、戦争、戦争、戦争、戦争、戦争、戦争、戦争、戦争、
 島に、落ちた、原子爆弾、戦争、戦争、戦争、戦争、戦争、戦争、戦争、戦争、
 と思う。



原爆先生の特別授業を受講して

表

右側は裏面に転入してください。

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、原爆というものの怖さまでにはまだ怖いという感情はありませんでした。しかしこの授業を受けて原爆というのは、大変おそろしく、人を一秒くらいで滅ぼしてしまうとなると、殺人機のようなものだと、改めて認識しました。熱線に比べ、しゅげき波状放射線を放出して人類滅亡への道を断つことは決して許されることではないと思います。今現在世界各国で、今回の原爆よりさらに強い原爆が計100機くらいあると聞かれました。もとのやつでも10分間爆つたしてしまうくらいで、しかし、原爆が何回か使われると、規模は大きくなり、かたは、地球滅亡もありたくはないと思います。そしてぼくは特別授業を受講して、今ある原爆は、軍用兵器として使用することを認めず、勝手に使用する。国がいた場合にはその国の兵器を全て排除することをお願いしました。

つまり、今の地球は、国と国が対立する争いをなくしては



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入して下さい

11 / 10

熱さ 7000℃ という原爆。この原爆が投下され、35万人の人口のうち
70%の24万人が被爆。そしてこのうち4万人の人が亡くなった広島。死がたか
たか人間には見えない人間がいたことにもおどろいた。そしてこれだけの死者を
出した原爆「トルボーイ」も長崎約3km、重さ4tというのだというが、これは他の
 $\frac{1}{1000}$ の熱さというのに核の強さがあらかじめ分かった。自分はこの検査官の国
のほほまでが何者しているから、恐しく感じた。この恐しい現実に向きず、
今の現代に良い日本を残してくれた、北田義三先生を含め、昔の時代に生きた
立派な人達に：心からありがたく思う。そして、この熱さ悲しい出来事も、
絶対に風化させてはいけないと思う。だからこの様な原爆を全員の
運命はとて壊れたと思う。あれだけの死者、悲しみを生きた原爆。今度は
僕らが次の世代に語る側として、絶対にこういう事を起こさない様に
語りつぐ必要があると思つた。現在、この唯一の被爆国・日本でさえ
減力を保持しようとしている。このまま行けば悲惨な事態は
まぬがれない。だからこそ、また悲惨な事態を起こさぬ様、
日本という国だけでなく、世界の国全てが平和を望み、
同じ人間として共に生きる事が大事だと思ふ。

「同じ人間として…平和を望むのなら、広島の前爆は決して風化
させてはいけない。風化が進む今…風化を食い止めるには、
僕達が動き出さなくてはならない。二度と惨事を起こさない為にも…」



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を表頭に記入してください

この授業を通して、広島の人爆がいかに悲惨だったか、被爆した人々がどんなに苦しい思いをしていたかということが分かりました。

そして、今も核兵器は世界に何百万発もあります。

核兵器廃絶もそこまで進んでいません。これは、核兵器廃絶に反対する国がいるからだと思います。

さらに、核兵器を持つ国が他の核兵器保有国に矛を向けているという理由で反対する国もあります。

これでは進むはずがありません。

広島の人爆を出来事として出し、核兵器廃絶を進めようと思いませんか。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を聞いて、原爆のおそろしさや、
被爆者の思いがよくわかった。

その中でも一番心に残ったのは、たったゴルフ球10位
の大きさのウラン1kgで広島が大きなことになってし
まったことだ。もしそれが、広島に落とされたリトルボーイ
につまめた60kgの全てのウランが爆発したら、もと
被害が大きくなっていたと思えた。なぜリトルボーイ
につまめた爆弾が全て爆発しなかったのか。当時
はそこまで技術がなかったためと原爆先生は教えて
くれた。それにくわえて今ではリトルボーイの1000倍の大きさの
ある原爆が世界に合計1万5千も落とされてきた。

原爆先生の話を聞いて、早くかと思うことは、死者を
くむので38万人が被害をうけ、世界ではじめて、原爆
が落とされた国、日本人が原爆のおそろしさ、世界
につなげていくべきということだ。



原爆先生の特別授業を受講して

名前は裏面に記入して下さい

もし、この時、広島にいたら、ぼくはどうなっていたか
 原爆先生の講義聴いて思った。ぼくは、戦争の時
 代に生まれなくてよかったと感じた。原爆投下の
 時の話を聴くと、なんとここにあててきました。なぜ
 なら、7000℃の高熱で大やけどをしてい私がたぐん
 いることでぼくはこ救なってきた。他にも衝撃波
 の速さが音速よりも速く伝わる事でもこ救な
 てきた。改めてぼくは、戦争は二度としこけい
 けないと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

記事の裏面に記入してある。

分かったこと

- ・広島・長崎に落ちた原爆は、ずいぶん街を破壊させるようなとてつもない力があったと分かった。
- ・被爆者の痛み、熱いなどといったとても苦しい思いをしてきたことが分かった。
- ・原子爆弾のことについて、どこにどう落とすかといった計画について教えた。
- ・原子爆弾投下都市の条件、原子爆弾のいかに候補になった都市など様々なことについて教えてもらってとても良い機会になった。

感想

90分という短い時間、原爆先生のお父さんが第二次世界大戦を体験したお話が聞けて良かったと思う。

90分という長いようで短い時間は、とても貴重な思い出ができた。戦争のことはなるべく早く終わらせるのは、みんなの世の中に絶対良いと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

8

写真は添削に記入して下さい。

広島に投下したリトルボーイは、じつは
100km/hで飛ぶ。この重さは約4
トンで、その1kgのウランが落ちて、きのこ型の雲
になる。上か層になるのは、それ以上雲は上
に行けなから上にとまるのだ。

米国は、本当は京都もねらまうとしていた。理由は、
山にかまかましているマは人の道路にかまかま
で、日本の文化財の物があ、たからた。でも、
最終的には、広島、小倉、長崎に落とす。
京都に落とさなくてよかったと思、た。

戦争中では、人の耳、口、鼻、目かあかしくな
たり手や足か取か取っていたそう、た。かあ

そう、たと思、た。広島では、5人に2人が
死亡したそう、た。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を罫面に記入して下さい

11/10

今日まで何とも思わなかった原子爆弾、けれども筆舌にできないぐらいの暗い歴史と人々の生々しい思い出が背景にあるという事を知り、胸が痛んだ。た、た握れる位のウランで、広島を壊滅させ、多くの人々を犠牲にしたという事実を何度考え直してみても腹が立ってしまう。ウジが湧いて皮がただれ膿が腫れてた、た、た「助けて」と発し、右注左注する被爆者達の姿が目に見えるようだ。そして、今70年経っても苦しみ続けている人達も居る。そんな人達を忘れてはいけなないと思う。これからは、戦争や広島原爆の事も風化されていくだろう。しかし、日本にはこんな事があったのだから、ということも、しっかりと後世に、日本をより良くしていくことの使命を受けついでいかなければならない。まだ12歳で戦争を知らない僕だ。そんな書けることはあまりない。しかし、頑張ってきたのが、この考え方なのである。



原爆先生の特別授業を受講して

※物は裏面に記入して下さい

原爆というものは病鳥を石炭か
すほどのいけくがあるのだから
とても危険な存在である。

さらに、現在ではアメリカや北朝鮮
がかく戦争をおこしそうな感じがすか
そんことをしてしまつた日本などの国
だけではない他の国までもまきこんで
しまいもしかしたら地球が滅んだりお

かしおたかおんおとあさおのためは原爆のム
なごり負の遺産を世界遺産に
していると思ふ。

ついでにこれから未来を平和にしてほしいと思つ
たり人や原爆で死んでしまつた人もおそ
う思っているということをほくは信じてい
ます



原爆先生の特別授業を受講して

表

各紙は裏面に転写して下さい

僕は、原爆先生の特別授業を受講して、考えた
ことがあります。広島に落とされたげんぱく（リトルボー
イ）は、1kgのウランを燃やして広島を破壊しま
した。そんな原爆は、今では広島の時々の千倍もの威力を
持つ代物が開発されているそうです。この原爆が發
われたら、国がなくなり、世界が崩壊するのは目に見
えています。ではなぜ開発するのでしょうか？不思議
ではありません。広島にある原爆ドームはなぜ世界
遺産に登録されたのでしょうか？原爆のおそろし
さを伝えるためのはずですが、しかし、それでも開発は
やみません。このように、吾国は、原爆の被害につい
て、言周りで考え、きちんとした決断を下すことができず
して、開発をやめることができず、なぜなら、それ
が被爆者の最大にして、最期の願いではないか
はずだから。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください。

池田先生の授業を受講して思った事がいくつかあります。まず、広島に投下された原爆につんできたウランが糸玉に収まりしか爆発しなかったのに広島の大半が焼け野原になった事です。今はその何十倍以上爆発する核爆弾が世界に一万五千個以上もあるそうです。もし、本当に今戦争が起ったら多くの死者が出てしまいます。絶対に戦争はしてはいけないと思いました。同時になぜこんなに世界に核があるのかも不思議に思いました。日本は今核を持っていないけどもし戦争が起ったら日本も核を造るのかもしれないと考えると、とても怖いですが、でも核を絶対に無くするのは大変だと思います。でも核を世界から無くするという心掛だけはとても大切なと思います。そして、もうあの広島に原爆が落とされた様な事はもう絶対に無くしてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して



毎朝は新聞に読んで下さい

ほくにとってこの原爆先生の特別授業は
はじめて貴重な時間でした。

前までほくは広島、原爆投下についてあまり知ら
なく、まともには考えた事もありませんでした。

しかし原爆先生が学校に来られて広島、各地
の原爆投下について考える本議会をやらせて
くれました。35万人中被災被害者が24万人、死者が14万人と
恐ろしい数字を聞いた時にほくはこう思い
ました。またこんな人が亡くなるのは聞きたくない
なと思いました。

池田さんの父、義三さんの体島を言ってくれたこと
遺体をついで火葬、やると言っていたと、義三さん
はどんな気持ちで遺体を運んだのか、ほくは
ほくは想像することが出来た。

そして今、アメリカと北朝鮮の戦争が起きている。
しかし日本は韓国に対して戦争の場にははいってない。
今、自民党が憲法を改正しようとしている。ほくは反対
です。そして戦争の場には日本を巻き込まないで。



原爆先生の特別授業を受講して

名前を裏面に記入してください

僕は原爆先生の話をきいて、印象に残ったことがいくつかありました。一つ目は、日本の兵隊さんは戦い以外にも活動を行っていたことです。兵隊さんは死体処理など一般人は全くしないがいつかは誰かがやらなければいけないことを行っているのです。それはとても大切なことだと思います。

二つ目は池田義三さんが原爆資料館の被害者として死にそう多くの被害者を見てきたという一言を聞いたことです。池田義三さんは、実際に戦争を体験した人であるためそのように見えるのだらうけれど、一般人が見るとさっぱりわからないと思います。そのように考えると被害者として死にそう人は見えなくなる、そのことが想像できません。今日の授業で戦争は人の命をなくする二層の面、それは決してないものがあることを改めて実感する機会になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

各冊は裏面に記入して下さい。

私は、今回の原爆先生の特別授業を受講して、改めて、戦争はいけなしいと思ったのですが、和達は、なぜ、あんなに平和が？ということを考えて、和達が昔、犯して来た、失敗があるからだと思います。なぜ日本が他の国より平和が？というのは、苦しみ爆弾の痛みを一度、味わっているからだと思ったり、この原爆の痛みを、決して忘れてはならないのです。

原爆ドームがあるのは、この原爆の痛みを後世の人にメモリーするためにあるんだと、思えます。私は、今年、夏、史跡にはちがいに参ったので、そう強く感じました。私はこの痛みを、光に変え、後世の人に語り、必ずやとぼすと、何年か「負の遺産」として、日本の歴史に、名を残して置いてほしいと私は思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

右側は裏面に記入して下さい

原爆はとても多くの人の命をうばい、多くの人を悲ませてしまう恐ろしい道具だと思った。

原爆を目の前にした人にしか分かることのできない思いもあると思うが、そのような方々の思いを私達は決して忘れてはいけない。

原爆が落ちた被害がどれだけ大きいものなのかを語り継いでいかなければいけない使命が私達にはあると思う。

原爆の本当の恐ろしさを、そして原爆が多くの人々を苦しませるということを知らずに原爆という恐ろしい道具を開発しようとしている人が世の中にはいるはずだ。この世にあの悲惨な事が二度と起こらないように私達がそのような人々に歯止めをかけるべきだと私は思っている。



原爆先生の特別授業を受講して

各教科書面に記入してください

11/10

戦争=戦争反対ばかりではいけない事という事です。

実際に現地で働いている人は、
あつちにも燃える光景を目の当たりにして
言葉も出さなかつたと思います。

九日朝も、風が、雨が、とカキカミし
ほり、必死に声を出している人を見て、
相当辛い思いがする。

広島の大空を暴走する食糧に行っている人
戦争を伴った人としてない人の
被災者たちの様子を感ずる。

体も食していない人は、(あつち)と思つたけれど、
百重かにかかっている。

でも、体も食した人は、(あつち)にきつてはない。もっと、こんな
様子(戦争)と思つたはず。

人形では、いざでも表現できます。
でも、辛く、逃げたい、という実際の感
小書は、現在に生きている人しか伝われない
と思います。

原爆で亡くなった人達の運命の分まで断切りにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

各ページ裏面に記入して下さい

ぼくは今日、NPO法人原爆先生の、池田先生の話を聞いて、色々な事を、知ることができ、考えさせられました。

例えば、今日の題名である、7000℃の少年、という意味です。ぼくは7000℃の少年とは、B29爆撃機エノラ・ゲイから投下された、リトルボーイのことではないかと思いました。

また、リトルボーイが落とされた後、地上の温度は3000℃近くになり、3000℃とは、人間の体内にある水分が全て蒸散してしまい、黒い炭のかたまりになってしまったことを初めて知りました。

ぼくはこの頃(昭和19年頃)アメリカの技術が高度発達(ていびく)て良かったと思いました。理由はリトルボーイが落とされた時、リトルボーイの中にある60kgのウランの内、1kgしか燃焼しなかったからです。ウランはゴルフボールと同くらいの大鼓で、燃焼して、広島が焼く野原になってしまいました。つまり、もしこの頃のウラン60kgの内、60kg(全部)燃焼して、技術がアメリカにあたら、広島のみならず、人口(じんぐ)が全て、被爆者は死んでいたかもしないからです。→(裏へ)

むさしの学園小学校

6年西組

名前 後藤 由果

知本館に池田先生の話を写す木々に、木から
の生活を過ごしたと思います。

H29
11/10



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入して下さい

私は、広島・長崎の原爆投下について、ニュースなどで少しは知、ていたけれど、くわしいことはあまり分かりませんでした。

今日、池田先生のお話をう、原爆についてのこと、被爆者の方や兵隊のことなどを知ることができました。特に、先生のお父さんの池田義三さんの手記の部分は、おそろしい話もありましたが、とても興味深かったです。

原爆のいかにについても、今までは深く考えたことはありませんでした。しかし、爆弾の重さや、太陽より温度が1000度も高いこと、また、衝撃波の速さは、音速よりも速いことを知、てとてもおどろきました。これからはも、と知、ていきたいと思いました。

現在は、この原爆よりも1千倍以上のい力の核兵器をつくらることができるとい、うことを聞いて、とてもおそろしいことだ、と思いました。また、
裏面へ →

むさしの学園小学校

6年 西組

名前 高山 真子

原爆での被災者の方々の苦しみや痛み
は、私には想像の出来ないような大きなものな
のだと思うけれど、もうこのような悲劇は起こ
てほしくなれどと思ひます。

今日は、今まで知らなかつた原爆のことを知れ
たので、とてもよかったです。